

VE提案項目の概要 公表資料

玉野市庁舎整備事業 設計施工事業者選定公募型プロポーザルにおいて
下記のVE項目は提案「可」とします。

VE提案の各項目の内容の中で、評価基準の提案項目の「評価の視点」に沿うものは、「技術提案」として提案可能です。

要求水準書に記載のとおり、構造種別、熱源方式については設計段階で比較・検討していただくことになります。設計段階での比較・検討で今回の提案内容ではなく、基本計画の内容の方が適しているとなつた場合でも、契約金額の増額はないことをご理解ください。

<基本計画の変更について>

表層地盤改良の見直しに關し、以下の内容について提案見積に反映をお願いします。

「地質調査報告書から必要と判断する液状化対策は行った上で、新庁舎下部の表層地盤改良は取りやめ、告示による免震設計を前提とした基礎の設計を行う。」

No.	タイトル	提案概要
1	防火区画の変更	1階執務室11周りの防火区画位置を変更しシャッターを削減する。
2	表層地盤改良の見直し	地質調査報告書から必要と判断する液状化対策について、外構の基礎形式を直接基礎から杭基礎に変更し、建物外の表層地盤改良を取りやめる。
3	杭頭接合部の変更	杭頭接合部を半固定とすることで、基礎梁への杭曲げを低減する。
4	主架構に関する構造計画の変更	1～5階までのX1～X9通間・Y3～Y6通間の柱割り、構造種別、免震装置、杭を変更する。
5	平家部分に関する構造計画の変更	1階のX1～X9通間・Y1～Y3通間の柱割り、構造種別、免震装置、杭を変更する。
6	屋上部分の構造計画の変更	5階鉄骨架構部の柱・梁の接合方法、及び東側鉄骨階段の構造種別を変更することで、SRCとしている柱と大梁をRCに変更する。
7	免震装置の変更	免震装置を変更し、地震力を低減し、コンクリート強度及び部材断面の見直しを行う。
8	空調方式の変更	基本計画図 M01図 主要空調方式「①執務室・議場：單一ダクト空調方式」について 執務室は「外気処理空調機+マルチパッケージ形空気調和機」へ変更する。 議場については変更の対象外とする。 効果金額は空調方式の変更のみを対象とし、機械室面積の削減などは対象外とする。 ただし、外気処理空調機を全熱交換器無しで提案し、設計段階で詳細な省エネルギー計算をした際に、全熱交換器を導入しないとZEB-Readyに達しないことが判明した場合、契約金額の増額はないことをご理解ください。
9	屋内消火栓の変更	屋内消火栓を易操作1号消火栓から広範囲2号消火栓に変更する。
10	受水槽パネル材の変更	受水槽のパネル材をステンレス製からFRP製複合板に変更する。
11	湧水ポンプの台数変更	免震ピット内の湧水ポンプを14台から8台に変更する。
12	床スラブの構工法の変更	床スラブの型枠を木製型枠から鋼製型枠に変更する。
13	床スラブの構工法の変更	床スラブを在来工法から鉄筋トラス付きデッキに変更する。
14	在来工法からPC工法への変更	屋上・屋根、バルコニーの一部を在来工法からPC工法に変更する。